



書道パフォーマンス甲子園

DISCLOSURE

— 半期ディスクロージャー —

2022

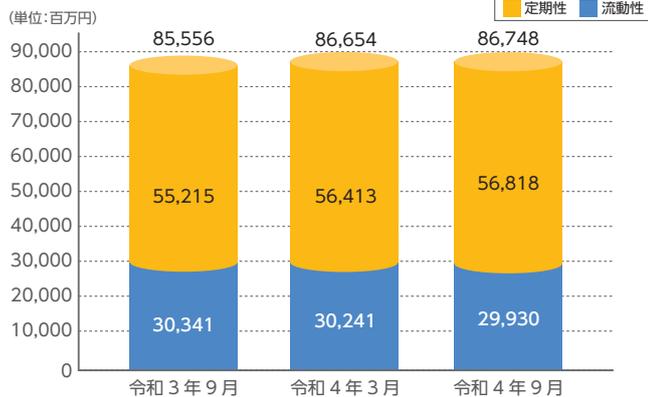
(2022年4月1日～2022年9月30日)

 川之江信用金庫

預金積金および貸出金の推移

預金積金の推移

預金積金残高 **867億円**



お客様の資産形成に対するニーズが多様化する中、当金庫の強みである地縁・人縁を活かした地域密着の営業活動を推進してまいりました。職域世帯には給与振込口座を中心に取引基盤の拡充、シニア世代には年金や相続などライフプランに合った商品・サービスの提供に努めました。その結果、令和4年9月末の預金残高は前年度末より93百万円(0.10%)増加し、867億48百万円となりました。

貸出金の推移

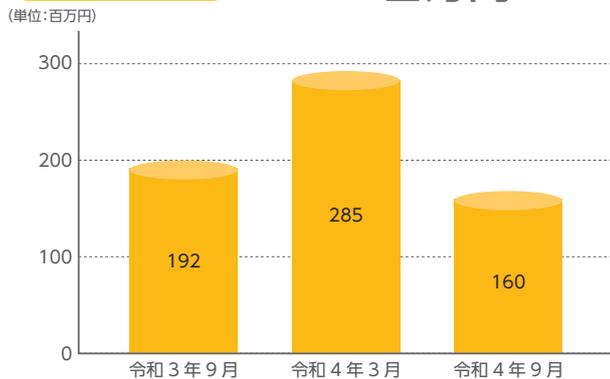
貸出金残高 **419億円**



多様なお客様のニーズに応えるため、コンサルティング支援の充実に努め、地域密着型金融を積極的に推進してまいりました。事業性融資については、資金繰り支援に加え、創業・補助金申請支援・販路開拓・事業承継等、企業のライフステージに応じた本業支援の取組を一層強化しました。個人向け融資については、住宅ローンや職域サポート契約先従業員を中心とした個人ローンに積極的に取り組みました。その結果、令和4年9月末の貸出金残高は前年度末より71百万円(0.17%)増加し、419億61百万円となりました。

収益の状況

当期純利益 **160百万円**



新型コロナウイルス感染症拡大やウクライナ情勢等による景気の低迷、マーケット環境の悪化、低金利政策の長期化の影響を受け資金運用収益が減少し、結果、減収減益となりました。

(単位:百万円)

	令和2年9月	令和3年9月	令和4年9月
業務純益	196	173	152
実質業務純益	207	180	132
コア業務純益	99	105	100
コア業務純益 (役員給与調整額を除く)	99	105	100
経常利益	175	273	218
当期純利益	129	192	160

自己資本の状況

自己資本比率 **21.82%**



自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を表す重要な指標のひとつです。国内のみで営業する金融機関は、4.0%以上を維持することが義務付けられています。令和4年9月末の自己資本比率は21.82%となり、国内基準である4.0%を大きく上回り、経営の健全性・安全性を確保しています。

自己資本の構成に関する開示項目

(単位:百万円)

項目	令和3年9月末	令和4年3月末	令和4年9月末
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	13,698	13,789	13,930
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	5	2	1
自己資本の額((イ)-(ロ))(A)	13,693	13,786	13,928
リスク・アセット等の合計額(B)	66,231	63,812	63,812
単体自己資本比率(A)/(B)	20.67%	21.60%	21.82%

(注)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しています。なお、当金庫は国内基準を採用しています。

自己資本の充実度に関する項目

(単位:百万円)

項目	令和3年9月期		令和4年3月期		令和4年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
信用リスクアセット・所要自己資本の額の合計(イ)	64,224	2,568	61,819	2,472	61,820	2,472
オペレーショナル・リスク(ロ)	2,007	80	1,992	79	1,992	79
単体総所要自己資本額(イ)+(ロ)	66,231	2,649	63,812	2,552	63,812	2,552

- (注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%
 2. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。
 (オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法)
 $\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$
 3. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

貸出金業種別内訳

(単位:百万円)

貸出金業種別内訳	令和3年9月末	令和4年3月末	令和4年9月末
製造業	4,822	5,074	5,153
農業、林業	95	101	229
漁業	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-
建設業	1,974	2,197	2,210
電気・ガス・熱供給・水道業	63	59	54
情報通信業	432	582	474
運輸業、郵便業	1,446	1,415	1,392
卸売業、小売業	2,466	2,355	2,386
金融業、保険業	9,031	9,024	9,026
不動産業	6,734	6,714	6,684
物品賃貸業	3	2	2
学術研究・専門・技術サービス業	13	15	14
宿泊業	1,156	1,094	1,050
飲食業	348	333	333
生活関連サービス業、娯楽業	42	40	35
教育、学習支援業	18	17	18
医療、福祉	468	472	413
その他のサービス	662	625	641
小計	29,780	30,128	30,122
国・地方公共団体等	571	470	386
個人	11,080	11,289	11,451
合計	41,433	41,889	41,961

信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

区分	令和4年3月末	令和4年9月末
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	149	236
危険債権	353	285
要管理債権	343	364
小計(A)	846	886
保全額(B)	856	883
個別貸倒引当金(C)	176	214
一般貸倒引当金(D)	39	30
担保・保証等(E)	641	638
保全率(B)/(A)(%)	101.21%	99.65%
引当率((C)+(D))/(A)-(E)(%)	105.03%	98.77%
正常債権(F)	41,170	41,210
総与信残高(A)+(F)	42,016	42,097

有価証券の時価情報

(単位:百万円)

区分	令和4年3月31日				令和4年9月30日			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	42,470	737	1,198	461	41,830	12	913	901
株式	2,699	▲50	151	201	2,735	▲156	81	238
債券	33,159	510	651	140	32,802	▲6	472	478
その他	6,612	276	395	118	6,292	175	360	184

- (注) 1. 「評価差額」および「含み損益」は、帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価の差額を計上しています。
 2. その他有価証券の「その他」は外国証券及び投資信託等を計上しています。
 3. 子会社・関連会社株式の保有はありません。

金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

IRRBB1:金利リスク					
項番		イ		ロ	
		ΔEVE		ΔNII	
		令和4年9月末	令和4年3月末	令和4年9月末	令和4年3月末
1	上方パラレルシフト	3,354.0	3,542.0	131.0	93.0
2	下方パラレルシフト	0.0	0.0	0.0	0.0
3	スティープ化	2,682.0	2,887.0		
4	フラット化	0.0	0.0		
5	短期金利上昇	269.0	245.0		
6	短期金利低下	0.0	0.0		
7	最大値	3,354.0	3,542.0	131.0	93.0
		ホ		ヘ	
8	自己資本の額	13,928		13,786	

(注) 金利リスクに関する事項

(1) 金利リスク管理の方針

当金庫ではトレーディング取引等を含む金利リスクについて、市場リスクの一つとして管理しています。また、金利リスクのうち、銀行勘定の金利リスク(以下、IRRBB:Interest Rate Risk in the Banking Book※)については、個別の管理指標の設定やモニタリング体制の整備などにより、厳正な管理に努めています。(※IRRBBとは市場リスクのうち、トレーディング取引等を除くすべての金利感応資産・負債、オフバランス取引に係る金利リスクを指します。)また、金利リスクの計測は、3月・6月・9月・12月の各月末を基準日として四半期毎に計測しています。

(2) 銀行勘定の金利リスクの算定方法の概要(IRRBB)

- 流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期 1.25年
- 流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期 2.50年
- 流動性預金への満期の割当て方法(コア預金モデル等)及びその前提金庫が定める保守的な前提を採用しています。
- 固定金利貸出の期限前償還や定期預金の期限前解約に関する前提金庫が定める保守的な前提を採用しています。
- 内部モデルの使用等、ΔEVE及びΔNIIに重大な影響を及ぼすその他の前提内部モデルは、使用していません。
- 計測値の解釈や重要性に関するその他の説明
 当期9月末の重要性テストの結果(ΔEVEの最大値/自己資本の額)は、24.081%となっておりますが、ΔEVEに対して十分な自己資本を有しているものと考えています。

令和4年度上期トピックス



「ウクライナ情勢、原油・原材料価格上昇等に関する特別相談窓口」の設置



4月20日

当金庫はウクライナ情勢及び原油・原材料価格上昇等の影響を受けているお客様に対応するため、「ウクライナ情勢、原油・原材料価格上昇等に関する特別相談窓口」を設置いたしました。



ヘンロ小屋しんきん庵「法皇・秋桜」にてお遍路さんをお接待



5月28日

当金庫では春と秋の2回おもてなしの心でお遍路さんをお接待させていただきますいております。



第37回「かわしん会」春季ゴルフコンペ開催



5月14日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中止が続いていた「かわしん会」春季ゴルフコンペを開催いたしました。エリエールゴルフクラブ財田にて開催され、総勢55名の方に参加いただきました。



「信用金庫の日」における献血活動実施



6月16日

6月15日は信用金庫の日です。今年度は初の取組となる献血を実施いたしました。総勢28名の方にご参加いただきました。ご協力いただきました皆様ありがとうございます。



川之江駅前「かわしんポケットパーク」竣工記念イベント開催



5月16日・17日

JR川之江駅前に書道パフォーマンス甲子園をPRする大型看板を設置した休憩スペース「かわしんポケットパーク」が完成いたしました。竣工記念として、当金庫の周知イベントを開催いたしました。

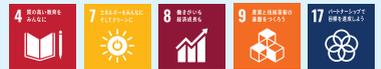


四国中央市SDGs推進プラットフォーム ファイナンシャルパートナー登録



6月20日

四国中央市が取り組む「四国中央市SDGs推進プラットフォーム」のファイナンシャルパートナーに登録されました。今後もより一層SDGsの達成に取り組んでまいります。



令和4年度第1回かわしんビジネスクラブ開催 特別ゲスト：伊藤 聡子氏



5月17日

令和4年度第1回「かわしんビジネスクラブ」では特別講演会を開催しました。講師にフリーキャスター・事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏をお招きし、中小企業の今後について講演いただきました。



書道パフォーマンス甲子園ロビー展開催



7月1日～7月29日

四国中央市で開催される書道パフォーマンス甲子園の写真展を開催しました。過去の大会の様子が展示され、迫力ある演技の様子が感じられました。



令和4年度上期トピックス



愛媛県と「よい仕事おこしフェア実行委員会」との包括連携協定締結



7月22日

「よい仕事おこしフェア実行委員会」と愛媛県が包括連携協定を締結しました。本協定後最初の取り組みとして8月25日には「愛顔あふれる!愛媛県”おいしい逸品”食品リポート商談会も開催されました。



令和4年度第2回かわしんビジネススクラブ開催 企業視察：山陽物産株式会社



9月13日

令和4年度第2回「かわしんビジネススクラブ」では初の取組となる企業視察を行いました。伊予市の山陽物産株式会社を訪問し、新工場の見学や代表取締役の武内様による講演を行いました。



事業者向け「第3回SDGs経営勉強会」開催 共催：四国経済産業局と三井住友海上火災保険株式会社



7月22日

これからの時代に不可欠となるSDGsをどう活用していくのか、講師の方にご講演いただきました。経営活動のなかでSDGsの項目に当てはまるものは何かなど、SDGsがより身近な取組だと感じられる内容となっています。



JR四国・四国中央市との地域活性化に関する 連携事業「四国家のお宝」取扱開始



9月16日

当金庫は四国中央市、JR四国と連携し、地域固有の資源を観光コンテンツとして楽しんでいただく「四国家のお宝」第75弾「紙のまち」四国中央市 ツアーにて企画協力し、四国中央市で初めて開催する運びとなりました。ツアーは12月7日・8日に実施いたします。



ご当地おみやげ取次プロジェクト実施



8月1日～8月31日

第2弾となる今回は東京都の亀有信用金庫とご当地おみやげ取次プロジェクトを開催し、当金庫取引先の特産品を取次いただきました。11月には当金庫にて取次を行います。



四国中央市との地方創生に関する 包括連携協定締結



9月20日

当金庫は地域の課題解決と持続可能な地域経済社会の実現のため、さらに踏み込んだ取組を行うべく、包括連携協定を締結いたしました。本協定締結を機に、四国中央市とより一層緊密に連携し、地域活性化に向けた伴走型の取組を強化してまいります。



省エネルギー設備投資利子補給事業の 取扱開始



8月19日

令和4年度「省エネルギー設備投資に係る利子補給金」に係る指定金融機関に登録されました。今後も省エネルギー設備の新設・増設等の支援に積極的に取り組んでまいります。



WEB完結ローン取扱開始



10月3日

非対面取引の推進および顧客の申込利便性を高めるべくWEB完結ローンの取扱を開始いたしました。対象となるのは、カーライフプラン・教育プラン・一般個人ローン・職域フリーローン・カードローンの5つの商品です。



[MAP]

● 本店・支店
● ATM

フジ川の江店出張所 四国中央市川の江町1920番地1
 フレッシュバリュー上分店出張所 四国中央市上分町441番地1
 タイム伊予三島店出張所 四国中央市下柏町684番地1
 フジ三島店出張所 四国中央市三島中央1丁目1番15号
 フジグラン川の江店出張所 四国中央市妻鳥町1136番地1
 イオンタウン川の江出張所 四国中央市妻鳥町1795番地1
 マルナカ三島店出張所 四国中央市寒川町35番地5

本店
 東支店
 本部・南支店
 上分支店
 三島支店
 西支店

フジ川の江店出張所
 フジ三島店出張所
 マルナカ三島店出張所
 タイム伊予三島店出張所
 フジグラン川の江店出張所
 イオンタウン川の江出張所

丸住製紙
 大王製紙
 四国中央市
 伊予三島運動公園
 伊予三島駅
 三島高校
 三島川の江IC
 国道192号
 高松自動車道

浜公園
 城山公園
 丸住製紙
 大王製紙
 川之江文化センター
 川之江Jct
 川之江北中
 川之江高校
 川之江南中
 フレッシュバリュー上分店出張所

ホームページもご覧ください♪

当金庫の概要や採用情報などを掲載しております。
 令和4年10月3日からWEB完結ローンの取扱を開始いたしました。ぜひご利用ください。

LINEやってます!!

地域のイベント情報やキャンペーン情報を配信!
 友だち大募集中! ぜひ登録をお願いします。
 友だち検索: 川之江信用金庫
 ID検索: @kawanoeshinkin

川之江信用金庫オリジナルキャラクター「ぶらん&のある」

2013年、当金庫創立66周年を記念に誕生したオリジナルキャラクターです。童謡「やぎさんゆうびん」の途切れないやり取りをモチーフに、お客様との長い付き合いをイメージしております。しるやぎさんが「ぶらん」・くろやぎさんが「のある」です。川之江信用金庫はぶらん・のあると一緒に成長していきます♪

川之江信用金庫『SDGs宣言』

川之江信用金庫は、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」が目指す取組みに賛同し、「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

令和2年5月

SDGsとは

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称のことを指します。「地球上の誰一人取り残さない」という基本理念のもと、2030年までに実現を目指す世界共通の目標として、17のゴール(目標)と169のターゲット(項目)が定められています。この目標に向けて政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、個人一人ひとりに役割があり、それぞれが協力・連携することが求められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SHIKOKUCHUO SDGs
 Ehime SDGs
 carbon EHIME 2050年脱炭素社会・アクション宣言
 ローカルSDGs 四国
ローカルSDGs四国
 いのち輝く、青い国・四国を次世代へ
 パートナリシップ構築宣言